



## 林業のプラス転換図る

### 新しい林業経営を展開

バイオマスパワーテクノロジーズ

バイオマスパワーテクノロジーズ  
クノロジーズ（三重県  
松阪市、北角強社長）

は7日、2023年度  
「新しい林業」経営モ  
デル実証事業の実現会  
議・現地視察、末松広  
行農林水産省元事務次  
官の講演会を奈良市内  
で開催した。

同社は、川上の燃料  
集材供給工程から川下  
のプラント運営までを  
一貫通貫で手掛け、木  
質バイオマス発電所  
（松阪市）を運営して

いる。

2020年には奈良  
県五條市の玉木材をグ  
ループに迎えて積極的  
に林業事業に取り組ん  
でいる。22年度に続け  
て23年度も林野庁公募



北角 社長

の「新しい林業」経営  
モデル実証事業に採択  
された。

実現会議で、北角社  
長は「当社は再生可能  
エネルギーの木質バイ  
オマス発電所事業を軸

に、地方再生型SDG  
Sを手掛ける全国的に  
も珍しい会社と思っ  
ている。林業はただ単に  
素材生産を行うだけ  
なく、50年カーボン  
ニュートラルなどにか  
わる事業の中核にあ  
ると自負している。国  
のグリーン成長の一翼  
を担いたい」と述べた。

基調講演では、「地  
域循環型の農林水産  
業の未来と地方自治  
体が果たす役割」を  
テーマに農林水産省  
元次官の末松氏が、  
日本の森林状況、地  
球温暖化と森林、持  
続可能な農林水産  
業の未来、カーボン

ニュートラルの実現  
化と政策等について  
解説し、「木を伐って  
売ることでは収入を  
得ることができない  
が、エネルギーで  
収入を得ることな  
ど様々な可能性を  
追求することも有効  
だ。自分の地域がど  
んな特徴があるのか  
、何か一つできれば  
、いい方向に向か  
うのではないかと  
まとめられた。

23年度「新しい林  
業」経営モデル実証  
事業、第2回実現会  
議で同社の福井勸  
林業部長が「趣旨は  
新しい林業事業とい  
うことで伐採から  
搬出、再造林・

保育に至るまで、  
この一連の林業事業  
のプラス転換を図る。  
現状、奈良地域では  
木材販売価格の低迷  
、獣害被害が大きな  
問題になっている。  
この課題解決に  
取り組み経営改善  
を行うこと」と趣旨  
を話し、同事業の  
説明、進捗よく状  
況について語った。

この後、モデル実  
証事業を行う対象山  
林（奈良県五條市）  
の現地視察を行い、  
獣害ネットの現状  
のほか、架線集材  
の流れ等を見学  
した。